



令和5年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



6月(水無月)

えがお こども おとな
笑顔は、子どもも大人も

こうちろう おくら たかゆき
校長 小倉 孝行

初夏のまぶしい空のもと、子どもたちの元気な声が校庭から聞こえてきます。4月末の土曜授業参観、懇談会では多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。お子さんが頑張って学習に取り組んでいる様子をご覧いただけたと思います。

先日、6年生は社会科の授業で特定非営利活動法人SHIPの代表の方を講師として、「多様性を認め、自分らしく暮らせる社会」をテーマに講演いただきました。数人の児童に感想を聞くと「誰にも言えないで苦しんでいる人がいるんだとわかった。」「一人ひとりが幸せだと感じられる世の中が大事だと思った。」「みんなちがってみんないいんだと感じた。」と話してくれました。

大型連休のとき、若者たちの切実な悩みや不安について取り上げた番組を見ていました。友達のこと、家族のこと、自分のこと、…。様々な悩みが絡み合い、本人でも上手に整理ができていないように見えました。そして、悩みの裏側にある本当の思いを誰にも吐き出せていないように感じました。子どもたちを救う最後の砦は大人です。その大人が最初に必要なことは、当たり前のことかもしれませんが「子どもの『声』を聞く」ことです。子どもと触れ合う時間をたとえ一日数分でも、食事のときでもいいのでつくる。横に座って話す。笑う。時間ではなく「濃さ」と言いますが、「子どもと心を共にする時間」という大人の意識が大事なのだと思います。そして、子ども一人に色々な大人が関わることで、網の目のようにして子どもを救うことができるでしょう。

ただ、大人にもたくさんの悩みや不安があります。学校は網の目の一つとなり、皆様の話を聞きたいです。学校から連絡することもあります。担任、学年主任、カウンセラー、誰でもいいので教えてください。私でも結構です。無理のない答えと一緒に考えていきましょう。皆様の笑顔が、お子さんの笑顔につながると私は思います。

4月の授業参観当日「生麦小学校教育後援会総会」を開催しました。教育後援会は開校以来長年にわたり生麦小学校の教育活動をご支援いただいています。会長の石川建治様から「生麦小学校の子どもたちに思い出をたくさん作ってほしい。」というご挨拶をいただきました。また、5月10日(水)には「生麦小学校学援隊総会」を行いました。隊長の浜田利文様をはじめ、地域、保護者のボランティアの皆様に登下校時の見守りをしていただいています。また校外委員の皆様にも旗当番のご協力をいただいています。子どもたちは学校に慣れ始めたところです。改めてご家庭でも交通安全(車道を歩かない、広がって歩かない、交差点の手前で止まる、自転車の乗り方、安全運転など)について、お話しただければありがたいです。

生麦小学校創立99周年記念朝会(6月14日)

来年度生麦小学校は創立100周年となります。今年度から様々な準備をして参ります。6月14日(水)の朝会では、教育後援会会長の石川建治様から子どもたちに向けたお話をいただきます。会場の関係上、保護者・地域の代表として「まちとともに歩む学校づくり懇話会」の委員の皆様にご参加いただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

子どもが被害者にも、加害者にもならないために(3・4年生「万引き防止教室」、5・6年生「サイバー教室」実施)

鶴見警察署、鶴見少年補導員連絡会の皆様により防犯教室が行われました。トラブルにつながる様々なケースを提示いただき、なぜしてはならないのかを子どもたちと一緒に考えました。コミュニケーションアプリ(LINE等)によるトラブルや、SNSやオンラインのチャット機能を用いて知らない人と連絡を取ってしまうという危険な事案があります。また、子どもが写真を加工し肖像権や著作権の侵害、個人情報の流出、不適切な書き込みや違法アップロードにより触法事案となったり、保護者に損害賠償を請求されたりすることがあります。お子さんを守るために、ご家庭でも法的な話を含めご指導いただきますようお願いいたします。



なかやす 中休みにミストを浴びて喜んで
いる子どもたち(熱中症対策)